
あったかネット大塚

第4号 2011年3月

一年を振り返って

あったかネット大塚 会長 山田 清夫

あったかネット大塚は、市内で唯一の「地区社協」モデルとして平成18年4月に発足して以来4年になります。目的は 会則第2条に定める蒲郡市社会福祉協議会と協力して、地域ぐるみによる自主的福祉活動の強化促進を図り、住民福祉を増進することです。

構成員の皆様方のご支援、ご協力を頂いて活動も定着してまいりました。平成22年度は、災害時要援護者救援体制整備事業も一人暮らし高齢者等要援護者世帯に加え、ハンディキャップをお持ちの人たちの名簿及びマップを作成していただきました。

当地域にも東海地震が今後30年間にマグニチュード8クラスの地震が87%の確率で起こるであろうと予測されています。いざという時に備え迅速な避難活動ができる支援ネットワークとして期待されます。

高齢者のための「いきいきサロン」、幼児の「そらまめパーク」「赤ちゃんサロン」等があります。また青少年健全育成事業、地域福祉ボランティア活動事業、公民館事業等に参加しています。参加された方々には多くの人達と出会うことができたという好評です。今後はシニア世代の方々の積極的なご参加が望まれます。

また、世間では、タイガーマスク現象により、ボランティア活動が広がりを見せています。「あったかネット大塚」においても、今後益々活動の輪が広がり、お互いに顔の見える付き合いができるコミュニティになることを期待し、より一層安全で安心な住みよい大塚学区になることを願っています。

老人クラブ

大塚老人クラブは健康、ふれあい(友愛)、交通安全を主な目標に活動しています。

1月20日市老連主催の西浦健康ウォーキングに参加しました。グランドゴルフやゲートボール、ラジオ体操にも大勢の会員が元気に頑張っています。

1月25日には公民館3階ホールで蒲郡警察署員の交通安全の学習会を開催いたしました。平成16年から22年までの7年間に市内の交通事故で亡くなった人は27人で、そのうち高齢者は19人でした。自宅から1km以内の交差点での事故が多く、しかも老人クラブ会員は1人だけのお話でしたので、私たちも交通ルールを学んで少しでも事故に遭わないようにしましょう。

2月1日は寿楽荘のふれあい活動の日でした。カラオケで3時間のお楽しみがあり、その間入浴やおしゃべりで命の洗濯をして心の垢を落とし、顔のしわをのばしました。あとは豪華(?)な賞品のビンゴゲームでした。

新加入者をお待ちしています。



新年会 交通教室
蒲郡警察署 神取さん



カラオケ熱演
寿楽荘 ふれあい活動



市老連 ウォーキング
西浦公民館 ~
西浦温泉地区一周



そらまめパーク（赤ちゃんサロン）

そらまめパークは

毎月 第3金曜日 10:30～ いこい会館(児童館付設)
児童館館長・職員・民生児童委員・主任児童委員・保健師が
手遊び・絵本の読み聞かせ・育児相談
身体測定などをします。

お母さん同士で悩みを話し合う、
情報交換の場にもなっています。

22年度はリズムあそび(ベビーサイン)・リトミック
ベビーマッサージ・赤ちゃん体操・ストレッチ
アイディア手作りおもちゃなどを実施しました。

子育て中のお母さん達が、子どもさんと一緒に気軽に
参加でき笑顔があふれ、気持ちのリフレッシュできる
会にしたいと思っています。パパママデイもあります。

平成 22 年度大塚地区子ども会 こんな活動をしました

- 交通安全教室** 5/16・5/30 1年生～3年生参加
蒲郡自動車学校にて映画学習
ゴーカート試乗で交通ルールを学びました
- スポーツ大会** 5/12 ドッチボール 1位 長尾・勝川
- 蒲郡市大会** 8/8 大塚地区代表 長尾・勝川チーム参加
- 社会見学** 8/28 名古屋港水族館
- クリスマス会** 12/11 キャンドル作り
ビンゴゲームで楽しく盛り上がりました
- 6年生お別れボーリング**
1/29 豊川エースボールで、たのしみました
- お別れ会** 2/19 ビデオ鑑賞・しっぽ取りゲームで
6年生は最後の子ども会活動をたのしみました



楽しかったよ
クリスマス海

やきいもパーティー
橘ヶ丘里山で
里山を愛し守る会主催



いざと云う時あなたはどうする！

自分の身は自分で守る 助け合う心で。

平成23年3月11日、午後3時46分東北地方に大きな大きな地震が発生しました。マグニチュード9 日本最大級の地震です。その数十分後、最大40mもの大津波が発生し、岩手県、宮城県、福島県等は壊滅状態となり、死者、行方不明者は数万人の大惨事となってしまいました。

そんな中、東海・東南海地震も、日に日にエネルギーを蓄え襲いかかろうとしています。30年の内に「来る」と言われてから12年経過しています。

この日本は地震国で、いつ、どんな形で災害が起こるか予測できません。起きてしまったら「自分の身は自分で守る」そして、「助け合う心」をもって行動してください。

今 私たちの考えることは？

地域の防災力 = (地域の助け合い、お互い様が地域を救う)

《備えあれば憂いなし》

地震への備え

- ・我が家の安全点検
- ・家族での防災会議
- ・防災訓練への参加
- ・非常用品の備蓄(持ち出し用も)

火災への備え

- ・火災報知機の設置
- ・消火器の設置
- ・たこあし配線に注意

その他の自然災害に備えて

- ・正しい情報の入手
- ・地域の会合には参加
- ・大災害には一人では何もできない、多くの助け合いが不可欠
- ・常日頃の付き合い、隣同士の心配りが大きな力となる
- ・災害弱者(高齢者、障がい者、外国人、子ども等)への支援、心配り

地域ボランティアの必要性

少子高齢化社会での子育てや、介護問題は家族のみならず、地域で支え合う問題となりつつあります。安全で安心して暮らせる地域、大塚をみんなの手で支え育てていきましょう。

「あったかネット大塚」

西大塚いきいきサロン

昨秋は待望のバス旅行で「なばなの里」と「お千代保稲荷さん」へお参りすることができました。

常には、区民会館を大いに利用して、遊戯や、おしゃべり会、時には手芸をしたり、体を動かしたりして楽しく遊んでいます。先回はニュースや友人の安否を知ることができました。また、人を集めて高額な品物を売る手法（悪徳商法）があり、注意するようにと話し合いました。ぜひみなさん、のぞいてみてください。

みんなの輪に入り遊びましょう。



どちらがきれい
なばなの里



あったかネット大塚

3月6日大塚公民館文化祭会場玄関ホールで、蒲郡市社会福祉協議会の協力を得て稲荷寿司・キウイ・はっさく・青島みかん販売を行いました。ご協力いただきました町民のみなさんありがとうございました。



サ ロ ン
相楽・東大塚 いきいき茶浪ん

いこい会館へ行こう

「赤・黄・緑」～いろいろ食べて元気なからだ!!～

「食べるって大事」と「食」と「健康」推進ボランティアグループ「ヘルスマイト大塚」の仲間をお願いして、毎日何気なく食べている3度のごはんの大切さの話を聞き、食材の手作り模型を使ったクイズで楽しく、簡単にバランスのとれた食べ物の選び方を学びました。



赤・・・身体のもと（肉類・たまご・牛乳・魚貝類・海藻・豆腐・豆類）

働き・・・骨をじょうぶにする・筋肉のもと

黄・・・力のもと（ごはん・パン・麺類・いも・砂糖・菓子・油類）

働き・・・脳の栄養・体温のもと

みどり・・・元気のもと（野菜・根菜・果物・とうもろこし）

働き・・・身体の掃除をする・病気になりにくくする

簡単手作り昼食献立

五色みかん寿司・具だくさん汁（7種野菜入り）・チーズ入りかぼちゃ茶巾

4月・・・子どもといっしょに
老人ホームでお花見

5月・・・5月節句飾り作り

6月・・・夏を元気に

7月・・・短冊に願いを

8月・・・達人たちのそうめん流し

9月・・・長寿を喜びましょう

10月・・・秋 体も心も元気に

11月・・・バスで行こう

名古屋城菊人形・徳川園

12月・・・クリスマス会

1月・・・新年会

2月・・・食べることって大事

3月・・・ひなまつり

(*^_^*)いこい会館を大塚の縁側に・・・ありがとう おたがいさまで(^o^)/

地域福祉ボランティア つくしんぼ

じき

「時季のもん」「そうだよ、体にいいもんね」。朝ごはんを食べずに登校してくる小中学生がいる今、食べることの大切さを市民に伝えるボランティアグループ「ヘルスマイト大塚」の皆さんに依頼した市委託事業、～いこい会館へ行こう～ 参加のお年寄りとの会話「今朝、何食べてきた?」「お味噌汁 何が入っていた?」「時季のもん」。待ち遠しい春を前に、冷たい風の中で採れる大根や白菜、ネギの入った湯気の立つ味噌汁とご飯。ゆっくり口に運ぶその笑顔が目には浮かびます。こんな朝食を食べさせて送り出してほしい。「おれ、朝ごはん食べて来んもん」。以前小学校で朝ごはんチェックのアンケートをした時、白紙を手にしていた男子児童の顔も思い出されました。

3月11日発災の「東北関東大震災」M9.0。「何かが怒ってるんだよ、人間に」。豊かに楽しくと求めて求めた暮らしを続け、警鐘を鳴らされ出して久しい。経済に、環境に、人間性にまでも。「罰が当たったんだよ」では、被災された人たちに余りにもむごく不公平です。被災地で水を求めて長蛇の列に並ぶ人も、おにぎりを受取りに並ぶ人も、お互い気遣いながら我慢強く、譲り合っている。争いもなければ暴動も起こらない。その中に「なにかで支援したい心」を「チェーンメール」や「募金詐欺」がねらっています。

新年度も大塚地域の暮らし良さを目指して、子どもからお年寄りまでのベビーカーとシルバーカー、車椅子を連ねたふれあいの輪づくりで「時季の人」が増えたらうれしいですね。

「まあるく まるく 暮らせる大塚にしたい」「つくしんぼ」の願いです。

お仲間になってください

連絡 59-8278 小林 春代(笹子)



学区防災訓練
次世代担う中学生たち
熱心に体験学習



編集後記

「あったかネット大塚」第4号をお届けします。
お彼岸を迎えても、吹く風は冷たい。東北関東大震災の被害は、限りなく増大しています。着のみ着のままで命だけは助かった人々が、雪舞う寒空にまだ再会できない肉親や従業員を捜す映像に心痛み目を赤くしています。

市民みんなが何もできない歯がゆさを感じながら、少しでも暖かくなって、少しでも……と祈っています。

掲載団体問い合わせ 大塚公民館 59-8820